

1 ピースボランティアの歴史

2001年9月11日、アメリカの世界貿易センタービルに飛行機が衝突しました。その年の福田中2年生の修学旅行の目的地は沖縄でした。しかし、空港内の警備体制が嚴重になり、沖縄には米軍基地もあったため、行けなくなってしまいました。そこで、私たちの先輩である当時の中学2年生は、日本だけではなく、ほかの国々にも平和になってほしいと思い、自分たちにも何かできることはないかと調べると、地雷で罪もない子どもまでもが命や手足を失っているという悲惨な状況を知りました。このようなことがきっかけで、先輩たちがピースボランティア活動の基礎をつくり、2002年9月から活動をはじめ、それを私たちが今に引き継いでいるのです。この活動は、どこの中学校も実施していない、今年度で19年目になる福田中学校だけの取組です。この活動によって、多くの人々が救われています。つらいこともきついこともあるかもしれませんが、私たちがピースボランティア活動を続けることによって、地雷で苦しむ多くの人々を助けられることを忘れないでほしいと思います。

2 お金の使い方

ピースボランティア活動で集めた収益は年間約10万円（以前は50万ほどになっていた）になります。そのうち8万円（以前は20～30万円）を認定NPO法人「難民を助ける会」に毎年寄付し、主に地雷撤去のために役立てています。

残りのお金は、活動に必要なものを購入したり、私たちの平和学習のために使っています。

難民を助ける会とは

世界中に埋められている数千万個の地雷をすべて取り除くには、気の遠くなるような時間が必要だと言われています。難民を助ける会では、アフガニスタンをはじめとする国の地雷の除去や地雷被害者の支援、地雷回避教育などを行っています。

地雷撤去のためには莫大な費用がかかります。チームの編成や維持にかかる年間の費用として約3000万円、地雷を1個除去するためにも1万円から10万円程度かかるそうです。

令和2年度（昨年度）福田中学校から寄付した4万円もこうした取組に使われています。

3 活動内容

火・水曜日の登校時の活動

毎週火曜日と水曜日は朝資源活動を行います。みなさんが各家庭から持ってきた資源をPV委員が生徒玄関で回収します。全校生徒が参加できる活動なので、新聞紙1束・空き缶1個でもいいので持ってきてください。

火曜日の午後の活動

火曜日の午後は、2か月に1回程度、総合的な学習の時間を使って、各学年で15のコースに分かれ、福田中学校校区の資源を回収します。資源の量や回収する場所によって、活動の時間に差があるのですが、早く終わった班は学校や他の班の作業を手伝ってください。特に、学校に集まった資源の仕分け作業は時間がかかるので協力をお願いします。また、班長は人員点呼と学校に戻ってきた報告も忘れないでください。

水曜日の昼休みの活動

火曜日に資源回収活動が行われた翌日は、昼休みに業者の方が資源を引き取りに来てくださるので、集めた段ボールや新聞・雑誌等をトラックに積み込む作業をします。昼休みに用事がない人は、進んで参加してください。

4 資源回収の流れとマナー

集合・整列の仕方

- ① 班長を先頭に、自分の班の列に並ぶ。（班長は班員の確認・人員点呼をする）
- ② 整列のときは班長の指示を聞き、私語をやめて速やかに並んでください。
- ③ 活動のはじめに、P V委員や先生方から活動の注意点やお知らせがあるので、よく聞いてください。

回収時のマナー

- ① 先輩方が受け継いできたピースボランティア活動は、地域のみなさんのご協力があるからこそ、成り立っている活動です。資源をいただいたときは「ありがとうございます。」などと感謝の言葉を伝えましょう。たとえ資源がいただけなかったとしても「ありがとうございました。また次回うかがいます。」と笑顔で伝えるようにしましょう。
- ② 福田中学校の一員として、地域に根づいた活動を行うために校外に出かけます。体操服やジャージをきちんと着用し、移動中に地域の方とすれ違ったら「こんにちは！」と気持ちよくあいさつをしましょう。

帰校後は…

- ① 班員は班長に戻ってきたことを報告します。
- ② 班長は、全員が戻ってきたことを確認し、生徒玄関前の小黒板に時刻を記入します。

5 道具の使い方

キャリーについて

キャリーは東階段下の棚にあります。回収日の昼休みに班長が準備します。

台車について

台車は会議室と靴箱の間にあります。台車には、押すときに握る場所と台車の裏の2カ所に地区が書いてあります。自分の班をしっかりと確認し間違わないように持って行ってください（大きなリヤカーは移動可能な道幅や数に限りがあるため、学校周辺のコースで使用します）。また、くれぐれも人が乗らないようにしてください。

バックの中身について

バックはキャリーと同じように東階段下の棚のかごの中にあります。バックは班長が取りに行きます。バックの中には、はさみ・ビニールテープ・ガムテープ・ゴムひもが入っています。必要な場合は、班長やP V委員から受け取り、安全に使ってください。

* このように、資源回収で使う道具はたくさんあります。すべてピースボランティア活動の収益金で購入したものですから、むだづかいをしたり、乱雑に扱ったりしないよう大切に使いましょう。道具が壊れたり、不足した場合は申し出て下さい。



6 資源回収時の注意事項

- ・ 台車に乗らない。
- ・ 横に広がって歩かない。
- ・ 細い道では一般の歩行者を優先する。
(できるだけ広い道を通るように心がける)
- ・ 一人で車道に出ない。
- ・ 資源以外のものは回収しない。

*これらのことを守り、みんなで協力してピースボランティア活動に取り組みましょう。



7 資源として回収できるもの・できないもの

回収できるもの

- 段ボール … 段ボールだけかどうかを確認する。
(あいだに何も挟まっていないことを確認する)
- アルミ缶 … スチール缶が混ざっていないことを確認する。
(スチール缶は回収できない)
- 新聞紙・チラシ … 一緒に回収してもよい。
(ただし雑誌や紙は一緒にまとめることができない)
- 雑誌 … 雑誌は雑誌類だけまとめる。
- 紙類 … 紙は紙だけでまとめる。

回収できないもの

- × プラスチック … 発砲スチロールなどは回収できない。
- × スチール缶 … 混ざっていたら一つ一つ取り除く。
- × 瓶 (ビン) … 置いてあっても持ってきてはいない。
- × 布 (ぬの) … 持ってきてはいけない。



* 注意事項 *

- ・ 回収できるものはどんどん学校に持ち運びましょう。回収できないものは学校でも処理することができないので、その場に置いてきてください。
もし「これは回収してもいいのかな…?」とわからないものがあったら、近くの先生や班長に尋ねてください。
- ・ 段ボールに**金箔 (きんぱく) が貼ってあるものや、におい (洗剤や線香の香りなど) が強いものは回収できません。**

8 ピースボランティアの豆知識

大きいダンボールは組み立てて、小さいダンボールや新聞紙、アルミ缶を入れて持ちましょう。

① 段ボールを図のように立てる



② 図のように段ボールを3カ所たたむ



③ 最後に、最初にたたんだ下に折り込む



*** ダンボールの持ち方 ***

引っ越し業者（プロ）の持ち方は、

右手：ダンボールの上側の奥 左手：ダンボールの手前の底

この持ち方が一番安定して、受け渡しがスムーズになります。

